

2021年4月1日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-705-6018  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール No.135

## 2月議会 予算と介護保険に反対 コロナ対策にもっと予算を



EV公用車の市民向けカーシェア

2月議会（2月16日～3月11日）では、代表質問時間を延長し、時間内で一般質問を行うことになりました。私は、代表質問を行いました（補足はやなぎ市議）。議会では、コロナ対策にもっと予算を組むべきとして、当初予算と介護保険特別会計に反対しました。その内容をお知らせします。

### 介護保険料値上げ

第8期介護保険料は基準額で4・1%値上げする計画です。年間3億8千万円、3年間で11億4千万円の負担増になります。国は調整交付金を5%にしていますが、市川市は高齢者が少なく2・3%しか交付されません。国に5%を要求し、保険料を下げる努力と、介護事業所や従事者などへの

対応をしっかりと行っていくよう求めます。

### 2年度補正予算

電気自動車貸し出しが1月から始まりましたが、収入がどこにも計上されていません。また、入札差金などの余剰金は、市民に説明できるようにするべきです。

### 3年度当初予算

まず、村越市政の3年間を総括。公民館など使用料値下げ、行徳野鳥観察舎の建設、不妊治療費助成、子どもの医療費の充実などの公約を実現しており評価するものです。が、福祉施設・障がい者施設の民営化、すべての公立保育園の民営化、テスラ車製の電気自動車導入、新庁舎の階段設置、市長室へのシャワールーム

設置などは評価できません。テスラ、階段、シャワー設置は、議会で議論されることなく、契約差金があるとの理由で、勝手に税金が使われたという大きな問題があります。各常任委員会ごとに報告します。

### ●総務委員会

非識別加工情報作成委託は、昨年度から始まり、1件の応募。提供された事業者の利益は述べられましたが、市民の利益については検証していない。市民からプライバシー侵害ではないかと問題提起されています。

いちかわ未来創造会議は、今年も継続。議会で大きな問題になったにも関わらず、調査もせず、事業をそのまま続けることは、市民の理解が得られません。

デジタルトランスフォーメーション（DX）関連では、事業の全体像がわからないまま、市民にも議会にも納得させることもせず、毎年巨額な事業費が積み込まれています。また、DX憲章が作られました。説明会もあり

ませんでした。ここでも突然の政策発表が行われています。

### ●健康福祉委員会

生活保護業務が民間委託されています。生活保護受給は国民の権利で、当然行政が行うべきものです。さらに厚労省に「民間委託範囲を拡大するように」という意見書をあげるなど、許せるものではありません。

保育園の民営化も認められません。保育園行政の基盤を支える点で、さらに充実させることが必要です。

### ●建設経済委員会

観光振興ビジョンの策定に1千万円です。昨年はコロナ禍で、職員は經濟部への応援が仕事となりました。観光部は必要でしょうか。

### ●環境文教委員会

文化会館リニューアルで、美術品5千万円、活性化事業3620万円。市川駅北口の「新たな学びと交流の場」も、不要不急と考えます。スマートフォンは期限を決めて断念することを選択すべきと要望しました。

# 村越市長が極秘にシャワー室設置 「調査特別委員会設置」を求める



8月の内覧会にはなかったシャワー室

2月議会で、「無所属の会」の代表質問で越川議員が質問。8月のマスコミヤ議員への内覧会でなかったシャワー室が極秘に設置されていることがわかりました。

共産党は無所属の会と協議を重ね「調査特別委員会の設置を求める」決議を提出しましたが、多数で否決（13対28）されました。

調査特別委員会の設置を求めた理由は、シャワー室の設置は、市民にも議員にも知らせずに行われたこと、その費用360万円が新庁舎建設費用の執行差金を当てたことを明らかにするためです。差金は税金です。差金が出たら一度返却し、新たに計画して、議会に承認を求めることや市民への説明も不可欠です。

一方で、反対した議員28人は「市長室に設置されたシャワー室を自費で撤去し現状回復を求め、市長に猛省を促す」決議を提出しました。しかし、決議の拘束力はありません。市長は、3月1日付声明で「市

長室へのシャワユニット増設について」というコメントを発表しましたが、現状回復をするなどとは、ひと言も言っていない。

この間の新聞やテレビ報道を見た市民から「テスラ車に続き、何をしているの」「市議会は黙っているの」など、たくさん声が寄せられています。何ら説明がなく極秘裏に支出されていけば、内部告発でもない限りわかりません。違法・不当な支出がないかどうか、公私混同がないかどうか、しっかりと調査する必要があります。シャワー室を撤去しなければ、6月議会でも追及していきます。

無料法律相談

◎4月13日（火）  
担当 藤野善夫弁護士

◎5月11日（火）  
担当 守川幸男弁護士  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで



## 県知事選挙で かなみつ候補奮闘 「生理の貧困」に衝撃

配布する動きが始まっています。ニュージラードは、6月から18歳までを対象に学校で無料配布。フランスでは、9月から大学や学生寮で無料配布を発表しました。市川市でも備蓄してある生理用品の提供を求めます。

3月21日投票の県知事選挙で、「明るい会」から立候補した、かなみつ理恵候補は、「コロナ対策、ジェンダー平等に全力」と訴えました。

その中で、大きな社会問題となった「生理の貧困」。コロナ不況が続くなか、経済的な理由で生理用品を買うことができない女性が5人に1人ということ。かなみつ候補は、早速、公約に「学校や公共施設に生理用品を置き、無料で配布すること」を追加しました。早朝の宣伝では、高校生が耳を傾けました。

都内の豊島区、足立区、北区では、防災備蓄品などを活用し無償配布する動きが始まっています。